

説明会での主な質疑応答

(仮称) 外環八潮スマートインターチェンジについて		
No.	質問の要旨	回答
1	(仮称) 外環八潮スマートインターチェンジ (以下、スマートIC) は、大型車も利用できるのか。	スマートICは、ETC (電子料金収受システム) を搭載している全車種の利用が可能です。
2	スマートICを出て県道平方東京線へ向かうには、国道298号の側道を使うルートと入谷東西線を経由するルートのどちらになるのか。	国道298号の側道方面には誘導せず、スマートICを利用する車は、外環八潮スマートICアクセス線から入谷東西線への誘導を考えています。
3	PAやスマートICなどは小中学校に近いが、影響についてはどう考えているのか。	交通量の増加による児童生徒の安全対策や教育環境への配慮について、今後検討していきます。
(仮称) 道の駅やしおについて		
No.	質問の要旨	回答
1	ドッグランを整備してはどうか。	現時点で道の駅の面積は決まっておらず、整備可否は判断できませんが、今後の検討の参考とさせていただきます。
2	八條中学校の西側が最適地となっているが、他の場所の検討はしているのか。	(仮称) 道の駅やしお基本構想では3箇所の候補地を挙げており、各場所のメリット・デメリットを比較した結果、八條中学校の西側を「現時点での最適な候補地」としています。
3	道の駅とPAはどのように棲み分けをしているのか。	道の駅は一般道の休憩施設、PAは東京外環自動車道の休憩施設となります。施設の内容については、同じようなものにならないよう、今後、市とネクスコで調整していきたいと考えています。
北部地区のまちづくりについて		
No.	質問の要旨	回答
1	八潮市の南部は人口増加がみられるが、北部は減少の一途をたどっている。県道平方東京線の東側でのまちづくりについてはどのように検討しているのか。	北部地区のまちづくりについては、平成28年に決定した「北部拠点まちづくり推進地区まちづくり計画」に基づいて進めていくこととしています。北部地区の産業拠点の形成及び交通状況の変化に伴い、県道平方東京線に隣接する地区についても土地利用の転換が生じることが予測されます。このため同計画では、事業の進捗や社会情勢の変化などを反映し、県道平方東京線東側のまちづくりについても検討することとしています。
2	商業施設が整備された際には、お年寄りや女性の雇用など、地元住民の生活関係についても考慮してほしい。周辺住民の生活が潤うようなものとなるよう検討していただきたい。	今後の検討の参考とさせていただきます。
3	地区内には小中学校があり、施設立地後は学校と隣接する状況となるが、自治会や教育委員会とは事前に調整しているのか。	町会や教育委員会には適宜情報提供を行っており、今後、交通量の増加に伴う児童生徒の安全確保などについて検討していきたいと考えています。また、騒音などの教育環境への配慮についても検討していきたいと考えています。
4	住民が開発にどのように関わっていくのかなど、ビジョンを教えてください。	地域住民や商工会関係者、農業従事者、学校関係者などで組織した地元組織が令和5年度に設立されており、北部地区のまちづくりに関して意見交換を行っています。今後も北部地区のまちづくりについては、地元の方々と調整を図りながら進めたいと考えています。